

第17回 ちゅうでん教育振興助成（平成29年度）

報告書資料 支援 - 21

学校名・団体名	全国公立小・中学校女性校長会全国研究協議大会 福島大会実行委員会
HPアドレス	なし
コース	教育研究
活動・研究 テーマ	全国公立小・中学校女性校長会全国研究協議大会 開催
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <ul style="list-style-type: none">○ 全国の女性校長が一堂に会して2日間の研修を行う。講演と研究協議を通して学び合い、連携を深めることによって校長としての職能を向上させ、真の男女共同参画社会の実現に資する。○ 福島県から震災後6年間の学校経営への取組を発信することで防災教育や放射線教育を中心とした安全教育、児童生徒及び職員の心のケアや組織を生かした教育活動の再開など、いずれの学校においても遭遇する可能性のある課題についての実践例を会員と共有する。	

1 実行委員会活動計画

平成27年4月 福島大会実行委員会立ち上げ

平成28年8月4日 第67回全国公立小・中学校女性校長会全国研究協議大会福島大会プレ大会
(会場： 福島県郡山市 ホテルハマツ)

平成29年8月3日 第67回全国公立小・中学校女性校長会全国研究協議大会福島大会
4日 (会場： 福島県郡山市 ホテルハマツ)

第1日目 総会、プレゼンテーション (明日に向かって「福島の歩み」)
文部科学省講演、記念講演

第2日目 分科会 (実践発表及び研究協議)

*特別分科会「復興・再生を図る学校経営」において、東日本大震災以降の福島県の教育実践について発表を行う。

平成29年12月 大会報告書完成・決算報告 実行委員会解散

2 第67回全国公立小・中学校女性校長会全国研究協議大会福島大会について

(1) 大会主題 未来を拓き 心豊かにたくましく生きる日本人を育成する学校教育の推進
～ふるさとに誇りをもち 夢や希望に向かってたくましく生きる子供を育む学校経営～

(2) 開催日 平成29年8月3日(木)・4日(金)

(3) 主な内容

会員566名が参加し、講演や協議を通して研究を深めた。

<第1日目>

○開会式・総会

○プレゼンテーション：「明日に向かって『福島の歩み』」

東日本大震災からこれまでの多くの励ましや支援に感謝し、震災と原発事故後の学校の様子と教育活動の正常化に向けての各校の取組、並びに福島県の子供たちの現在の様子とこれから歩んでいく福島の姿をプレゼンテーションした。

○文部科学省講演 演題 「当面する初等中等教育上の課題」

講師 文部科学省大臣官房審議官 白間 竜一郎 氏

学習指導要領の改訂の背景や方向性、特別の教科「道徳」をはじめとするこれからの教育課程の理念、多忙化解消、教員の資質・能力の向上の改革等、充実した資料をもとにご講演いただいた。

○記念講演 演題 「勝利への伴走者」

講師 福島大学人間発達文化学類教授

福島大学陸上競技部監督 川本 和久 氏

川本和久氏は、オリンピックや世界陸上で活躍する女性アスリートを多教育しておられる陸上競技の指導者である。東日本大震災後のご自身の復興支援への取組やスポーツを通しての人間教育について、具体的なエピソードを交えながら示唆に富んだご講演をいただいた。



<第2日目>

○分科会・分散会

【第1分科会】**主題 「生きる力」を育む学校経営**

・第1分散会：21世紀型能力を育む学校経営

～主体的・対話的で深い学び合いを通して～

提案者 東京都日野市立日野第一中学校長 石村康代

指導助言者 福島県教育庁義務教育課長 佐藤 秀美 様

・第2分散会：夢や希望に向かってたくましく生きる力を育む学校経営

～ふるさとに誇りをもち子供の育成を目指して～

提案者 千葉県八千代市立萱田南小学校長 平瀬 典子

指導助言者 郡山市教育委員会学校教育推進課長 早崎 保夫 様



【第2分科会】**主題 教職員の資質と能力の向上を図る学校経営**

・第1分散会：教師としての専門性や指導力の向上を図り、教師力を高める学校経営

提案者 香川県高松市立三溪小学校長 堺 美枝

指導助言者 福島県教育庁県中教育事務所長 歌川 哲由 様



・第2分散会：教職員の運営参画意識を高め、組織の活性化を図る学校経営
～男女共同参画社会の実現を目指して～

提案者 長野県伊那郡松川町立松川北小学校長 下井 早苗
指導助言者 郡山市教育委員会学校教育部教員研修センター所長 村上 文生 様

【第3分科会】**主題 創意と活力ある学校経営**

・第1分散会：組織マネジメントを生かし、創意と活力を引き出す
学校経営

提案者 北海道釧路市立昭和小学校長 鈴木 美恵
指導助言者 福島県郡山市立芳山小学校長 吉川 和夫 様

・第2分散会：学校評価を生かし、学校力の向上を図る学校経営

提案者 東京都八王子市立式分方小学校長 清水 弘美
指導助言者 福島県教育庁義務教育課主幹 佐藤 由弘 様



【特別分科会】**主題 復興・再生を図る学校経営**

提案内容 震災・原発事故から復興・再生に向け、たくましく歩み続ける学校経営
～安全教育の推進を目指して～

提案者 福島県いわき市立上遠野小学校長 林 弘美
指導助言者 福島県郡山市立郡山第二中学校長 飯村 新市 様



いずれの分科会・分散会においてもそれぞれの主題に基づいた、各地区・各校の具体的な実践について充実した提案発表が行われた。その後、全体協議、グループ協議の時間を設け、熱心な協議が展開された。研究の中心である校長の指導性の究明と共に、女性校長として女性の管理職登用に向けてどのような働きかけや取組を行っていけばよいかについても議論が深められた。また、各指導助言者からは、提案発表と協議を踏まえた学校経営に直結する貴重な助言をいただいた。

福島県が担当した特別分科会には特に多くの会員の参加があり、被災校における震災後6年あまりの学校経営と放射線教育を含む安全教育・防災教育について広く伝えることができた。

参加された校長先生方の学校経営に対する強い使命感と情熱にあふれた分科会・分散会となった。

○閉会式

2日間の大会を振り返っての会長、実行委員長の挨拶の後、大会宣言を決議し、本大会の成果を時期開催県につないで閉会した。



3 成果

東日本大震災とそれに伴う原子力発電所事故の発生以来、福島県は全国から多くの支援や励ましを頂き、現在もそれは続いている。

福島大会実行委員会は、「感謝の気持ちを全国に」という福島県女性校長会の思いをつなぎ、大会実施に向けて綿密に準備を進めてきた。平成28年度にはプレ大会を開催し、その成果と課題を踏まえて本年度の大会を運営した。大会後、多くの参加者から、「感銘を受けた。」「福島に来てよかった。」との声を頂けたことは、震災後の本県各校の取組と福島の子供たちの頑張る姿、そして福島県女性校長会の感謝の気持ちが伝わったことの証と捉えている。

全国の会員が一堂に会し、実践をもとにした研究を深めると共に会員相互の連携を図り、各校の学校経営のさらなる充実・発展を目指して研修を行ったこの研究協議大会は、女性校長の職能向上は元より男女共同参画社会の実現に資するものであったと考えている。

今後は本研究協議大会の成果を各校の学校経営に生かすと共に、女性校長所属の学校のみならず全国に発信し、真の男女共同参画社会実現のために寄与していきたい。